



学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的・創造的に行動する子の育成

～ やさしく かしく たくましく ～

もう少しで前期の終了を迎えます

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、秋の涼しさをやっと感じるできるようになりました。まだ、気温の変動があるので、体調を崩さないように気をつけたいものです。子どもたちはこれまで、熱中症予防で外や体育館での活動を制限されてきましたが、その制限がなくなり、のびのびと活動しています。10月の下旬に行われる運動会の練習も始まり、休み時間も自主的に練習する姿もあります。そして、来週の金曜日には前期の終業式であり「家庭への知らせ」を配付する日でもあります。これまでの子どもたちの学習の様子を下記の観点で評価し、今後の展望等も含め「学校生活のようす」を言葉でもお伝えします。お子さんの努力や成長を見取っていただき、励ましの言葉をかけてあげてください。

「家庭への知らせ」についてお知らせします ※ご家庭へ配付後は返却の必要はありません

(1) 各教科の学習のようす

各教科次の3つの観点について「よくできる」「できる」「もう少し」の3段階で評価しています。

なお、1年生前期については各教科の学習内容及び学校生活の様子について記載しています。後期には3つの観点について、2段階で評価をします。

①知識・技能

- ・学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価します。
- ・それらをすでに習得している知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。

②思考・判断・表現

- ・各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

③主体的に学習に取り組む態度

- ・知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けて粘り強く取り組んでいるかを評価します。
- ・自らの学習状況を把握し、振り返ったり見通しを持ったり、学習の進め方について試行錯誤したりするなど、調整しながら学ぼうとしているかどうかを評価します。

*「よくできる」→目標（評価の規準）に照らして、十分満足できる状況にある場合。実現している学習状況が質的に高まりや深まりをもっていると判断できる場合。

*「できる」→目標に照らして、おおむね満足できる状況にある場合。学習指導要領の目標を達成している状況で、学校では子どもたちがこの「できる」の状況になることをめざして日々授業改善を行っています。

*「もう少し」→目標に照らして、努力を要する状況にある場合。学校ではこの状況にある子どもたちが「できる」の状況になることをめざして授業改善及び支援を行います。

(2) 学校生活のようす

子どもたちの日頃の授業や休み時間等の様子を、総合的に言葉で記載しております。